

ホテルピアザびわ湖での宿泊療養について

宿泊療養施設の安全・円滑な運用のためには、皆様からのご協力が不可欠です。療養者の方にはご不便をおかけする点もございますこと、あらかじめご了承ください。

- 大きなフロアで、複数の療養者の方と一緒に過ごしいただくため、食事・就寝時間等は、他の療養者の方々と併せた時間での対応となります。
- 入浴はできないため、療養期間中は清拭のみです。
- 療養施設では、看護師および介護士が24時間常駐しています。また、療養中1日1回以上医師の診察があります。
- 対応させていただく職員は、防護服を着用しています。
- 入所時の貴重品は最低限必要なもののみとしてください。現金は療養には必要ありません。
- 新型コロナウイルス感染症の療養期間が終了する数日前にご家族等に連絡させていただきます、退所の日時の調整をさせていただきます。
必ず療養期間終了日に退所いただきますので、お迎えの手段等のご準備をお願いします。

入所時の持ち物・準備物について

下記の持ち物・準備物を参考に、2週間程度の外泊を想定して宿泊療養の準備を行ってください。

基本的に自宅にあるものでご用意いただき、足りないものについては、ご本人または濃厚接触者が外出しない方法でご準備ください。アメニティ類はございませんのでご留意ください。

【持ち物・準備物】

- 保険証（医療保険証・介護保険証）
- 服用中のお薬（あれば頓用の薬）、お薬手帳
※服用中のお薬は、出来るだけ療養期間より多めにご持参ください。
- 衣類（着替え、パジャマ、室内履き等）
※施設内を移動する際は、安全を確保するためにスリッパ等は不可としています。
- 洗面用具等（歯ブラシ、歯磨き粉、義歯、義歯洗浄剤、ひげそり、くし、プラスチックコップ、フェイスタオル等）
- ティッシュ、ウェットティッシュ
- （必要な方のみ）オムツ、パット、お尻ふき
- めがね、時計
- その他（携帯電話、充電器、本など娯楽に必要なもの等）

※用意されているもの…トイレットペーパー、寝具、マスク、ごみ袋、体温計、パルスオキシメーター、義歯ケース

※たばこ、酒・ビール等のアルコール、生もの、騒音を出すものは持ち込み禁止です。

宿泊療養における同意について

【療養中の安全対策に関する同意】

入所による環境の変化や、病気によるさまざまな身体的、精神的影響に配慮し、危険行動を予防し適切に対応いたします。

しかしながら、やむを得ず安全を最優先とし以下の事項をせざるを得ないことがあります。ご理解とともにご協力をお願いいたします。

- 本施設は療養のための一時施設です。療養期間が終了しましたら退所していただきます。
- 安全対策として離床センサーを使用することがあります。
- 安全対策として監視カメラを使用します。
- 安全に療養していただくことを最優先とし、リハビリ等は行いません。入所時よりも筋力低下する可能性があります。
- 転倒・転落に十分注意を払いますが、ご本人の体動により、あざや打撲が生じる可能性があります。
- 退所時、認知機能低下の可能性があります。

差し入れについて

ご家族やお知り合いからの差し入れは可能ですが、お受けできるものについては、下記の例示をご参照ください。

また、差し入れがある方は、あらかじめ事務局にご連絡ください。ご来訪時間や受取場所、連絡方法等を調整させていただきます。

※事前のご連絡を受けていない差し入れは、受付できない場合がありますので、くれぐれもご注意ください。

※濃厚接触者の方からの差し入れは原則不可です。

【例示】

◆差し入れできないもの

- ☆食品、飲み物
- ☆たばこ（加熱式たばこを含む）
- ☆危険物（包丁、ナイフ等を含む）
- ☆騒音を出すもの
- ☆冷暖房器具（電気毛布を含む）

宿泊療養における費用負担について

新型コロナウイルス感染症の療養のための宿泊費用、食事代等はありません。

ただし、新型コロナウイルス感染症以外の医療が必要となった場合は、別途ご自身での負担が発生します。

- 宿泊費用、食事代 ➡ 費用負担はありません。
- 診療費、薬剤費
 - ・ 新型コロナウイルス感染症に関連する医療 ➡ 費用負担はありません。
（例） 発熱や咳、のどの痛みに対する治療等
 - ・ 新型コロナウイルス感染症に関連しない医療 ➡ 自己負担が発生します。
（例） 持病の治療、持参薬の継続処方等